

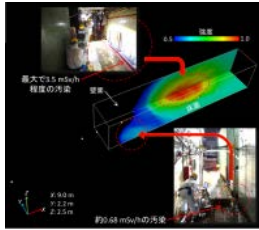
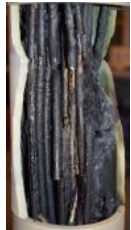
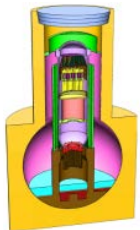
福島研究開発部門の取組み

業務の方針（中長期計画の抜粋）

福島第一原子力発電所事故（1F）により、同発電所の**廃止措置や環境回復等、世界にも前例のない困難な課題が山積**しており、これらの解決のための研究開発の重要性は極めて高い。このため、人的資源や研究施設を最大限に活用しながら、エネルギー基本計画等の国の方針や社会のニーズ等を踏まえ、**廃止措置や環境回復等に係る研究開発を確実に実施するとともに、研究開発基盤を構築**する。

廃止措置等に向けた研究開発

- 中長期ロードマップに基づく研究開発
- 現場ニーズを踏まえた基礎基盤研究開発
 - 燃料デブリの取り扱い
 - 放射性廃棄物の処理処分
 - 事故進展シナリオ解明
 - 遠隔操作技術 等



環境回復に係る研究開発

- 福島復興再生基本方針に基づく研究開発
 - 環境モニタリング・マッピングに関する技術開発
 - 環境動態に係る研究
 - 除染・減容技術の高度技術開発
 - 福島県環境創造センターでの連携協力



研究開発基盤の構築

- 楡葉遠隔技術開発センター、廃炉国際共同研究センター国際共同研究棟の運用継続
- 放射性物質の分析・研究施設（大熊分析・研究センター）の施設管理棟の運用開始、第1棟と第2棟の整備



アウトカム

- 東京電力福島第一原子力発電所の廃止措置等の安全かつ確実な実施に貢献
- NDF等での廃炉戦略の策定や研究開発の企画・推進等を支援 等

アウトカム

- 規制庁や環境省の安全対策検討や帰還に関する各自治体の計画立案等に貢献
- オフサイトの研究技術開発成果をオンサイトの1Fの廃止措置・汚染水対策等に適用 等

アウトカム

- 国内外の研究機関や大学、産業界等との交流ネットワークを形成、産学官による研究開発と人材育成を一体的に推進 等

各センターの業務とその取組み例

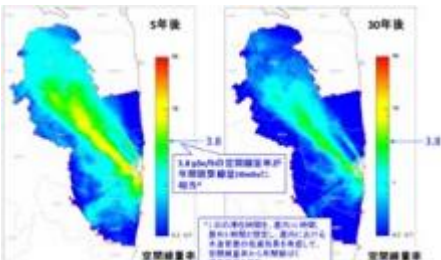
福島環境安全センター (三春町、南相馬市)

除染、環境モニタリング、環境動態等、
福島の環境回復に係る研究開発を実施

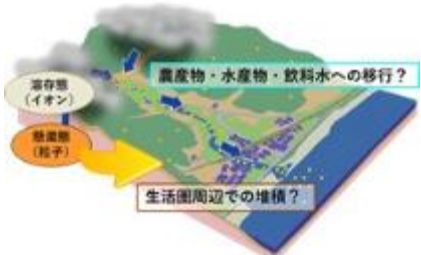


福島環境創造センター (三春町)

※福島環境安全センターは、福島県が整備した施設
(福島環境創造センター、環境放射線センター)
に入居し活動

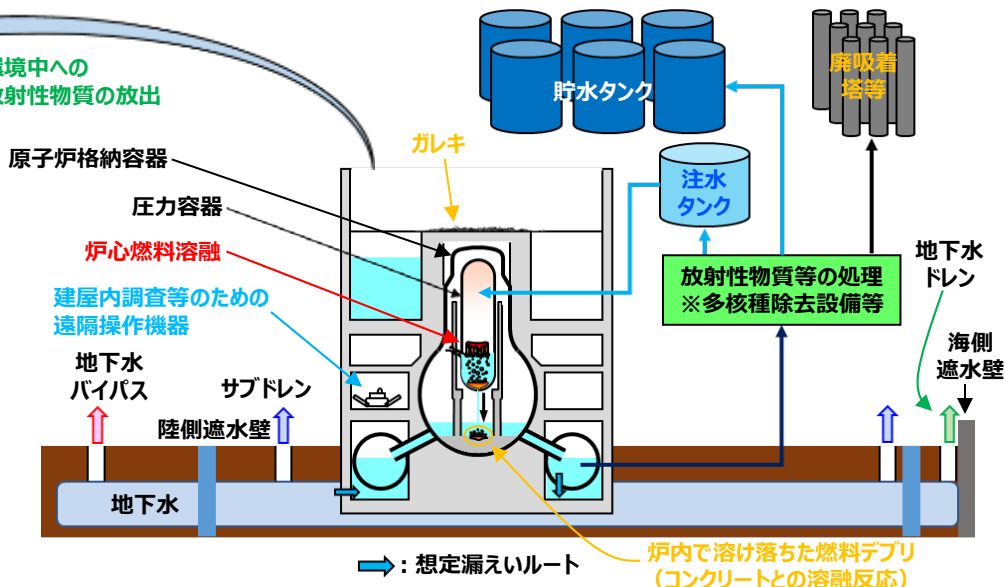


空間線量率の将来予測



放射性セシウムの移動量予測

環境中への
放射性物質の放出



成果の適用

『オフサイトから
オンサイトへ』

廃炉国際共同研究センター (富岡町)

JAEAを中核とした国際的な研究開発
拠点を構築し、国内外の大学、研究機
関、産業界等の人材が交流するネット
ワークを形成、産学官による研究開発
と人材育成を一体的に進める体制を
構築し、廃止措置を推進。



国際共同研究棟

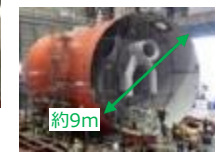
※茨城県の東海、大洗地区の既存施設等を
活用した研究開発を実施

楡葉遠隔技術開発センター (楡葉町)

原子炉格納容器下部漏えい箇所の止水技術の実証、遠隔操作機器の
開発・実証の場を提供



原子炉格納容器下部の実規模試験体



※国際廃炉研究開発機構が試験を実施

大熊分析・研究センター (大熊町)

ガレキ、燃料デブリ等の放射性物質の
処理・処分のために、放射性物質の
分析・研究を実施



完成予想図
(施設管理棟:運用中、第1棟:建設中、第2棟:設計中)